



# 朱雀の翼

## 創造力を身に付けるには

「創造」とは、これまでになかったものや考えを新しく作り出すことです。生徒の皆さんには、従来のやり方にとらわれない発想や多角的な視点で、新しい価値を生み出す力を身に付けてほしいと考えています。

従来のやり方にとらわれないというと、本校の教育目標の1番目に挙げられている、「広い視野をもつ」と同じといえます。

大人になると、枠にはまった考え方が定着しやすく、頭が若く柔らかい、10代の今のうちに創造力を鍛えられたらいいです。

創造力を身に付けるための手法をいくつか紹介します。

①困ったことや不便さを感じたら、「こうだったらいいな」と考え

てみる。そして、そのままにしないで、思いついたアイデアをメモして、すぐ行動してみる。

例えば、授業や勉強の仕方がわからない時、先生や友達や先輩に聞くのもいいが、ノートの取り方を工夫してみる。ただ黒板を写すだけではなく、先生が話したことをメモしてみる。プリントの答え合わせだけでなく、先生が話したことをメモしてみる。先生は黒板に書かないが、大事なことをいうことがある。

②困難な問題に直面しても「無理だ」「むりむりむり」と思わない。

「できないことはない」という前提で取り組む。すぐにあきらめない。

③授業中に「誰かが答えた正解」をそのまま鵜呑みにしない。なぜそうなるのかな?」「これでいいのかな



?」と確認してみる。授業中に「なぜ?」を3回意識してみる。なぜ?なぜ?なぜ?

④失敗を恐れない。「失敗は成功のもと」「失敗の延長線上に成功がある」という捉え方をしてみる。

⑤新しいことを始めてみる。夏休みだからこそ、チャレンジしやすいかもしれません。できるだけ、自分には無縁だと思っていることや苦手だと思っていること、まったく興味をもてないと思っていることの方が創造力は鍛えられるそうです。



6月15日日本ペップトーク普及協会の代表理事を講師にお招きして、「ペップトーク」について教員研修会を開催しました。

「ペップトーク」とは、指導者が、選手や生徒などを励ますために使う「元気・活気・勇気を与えるトーク術」です。言葉の力を使って、人のやる気や輝きを引き出すというペップトークの理念を知り、日常の教育活動において、可能な限り肯定的な表現をするために事実の捉え方を変換し、別の言葉—ポジティブ語を使う練習をしました。



## ポジティブな気持ち

7月9日道徳授業地区公開講座では、2校時に各教室で道徳授業を行い、3校時に全校生徒及び保護者対象の「ペップトーク講演会」を開催しました。コミュニケーションの土台となるラポール(信頼関係)を築くには、相手を受け止め、理解と相互信頼の関係を成立させる過程が大切です。

しかし、言葉だけでなく、態度や姿勢、目線などの非言語も他者に与える印象として大事なことです。プラスの印象を与える接し方(ポジティブストローク)も体得できるといいですね。

夢や目標達成を本気で応援する**ドリームサポーター**。親は子どもの1番身近なドリームサポーターだそうですが、実は、人は皆、自分自身のドリームサポーターなのです。だからこそ、セルフペップトーク(意識して良い言葉)を選んで言い続けると自分の望む方向に進んでいくのだそうです。

# 地域



市内の小中学生より応募があったメニューの中から西東京市の野菜や果物を使ってプロが商品化して限定販売をするという「めくみちゃんレシピコンテスト」に本校から9名の生徒が選ばれました。7月15日から8月31日まで市内各店舗で販売されます。是非食べてみたいですね。

(詳細はホームページ、リーフレットをご参照ください)



ナスとトマトの夏野菜スパゲッティ  
1,650円  
ひばりかな中学校2年生、保谷中学校1年生、柳沢中学校3年生提供



トマトと卵の中巻炒め  
900円  
柳沢中学校2年生提供

7月1日地域主催による放課後の居場所づくり「やぎカフェ」。コロナ禍でお休みしていましたが、期末考査の最終日のとても暑い日にミストシャワーなど熱中症予防対策を講じながら復活しました。9割近い生徒が参加しました。



## つながる

本校の3年生(修学旅行実行委員長と運動会実行委員長、副委員長)がFM西東京「突撃お昼の学校!」に出演しました。収録は、本校に機材を運び込んで行いました。笑い満載!!



内山先生と藤沢先生も応援出演し、プロアナウンサー顔負けのとても盛り上がった収録となりました。ONAIRは、2回とも終わってしまいましたが、みなさんは聴きましたか?

7月9日学校運営協議会が開催され、7名の協議会委員の方に集まいただきました。本校主幹教諭3名による教育活動報告の後、登校時の検温や学習支援のお手伝いを学校から地域へお願いしました。地域からは、人材募集のちらしづくりや50周年プロジェクトのご助言などをいただきました。



# 小中連携

7月15日柳沢中50周年お祝いプロジェクト」保谷第二小学校の4年生の皆さんが、マツバボタンを育ててくださいました。小学校のmeetによる全校朝礼に本校の生徒会役員も出演し、お礼を述べました。



7月11日~7月15日「社会を明るくする運動」や「小中連携あいさつ運動」を実施しました。保谷第二小学校の児童と本校の生徒がお互いの学校の門に立ち、登校して来る児童・生徒たちと「おはようございます。」とあいさつを交わしました。また、地域の方々も来てくださり、柳沢地区の朝がとても活気づき、「元気な朝」で始まる1週間となりました。



# 生徒会

生徒会では、学年を超えたつながりを持ち、学校全体の活気ある雰囲気づくりをねらいとして様々な企画をしています。

**全校「クイズ大会」**朝読書の時間を利用し、早押しクイズの学級予選を勝ち抜いた凄腕が7月11日の本選で優勝を競いました。

**暑中見舞いプロジェクト**本校の近隣には、「東京老人ホーム」や「SONPOの家」などいくつかの高齢者施設があります。柳沢中生が暑中見舞いを作成し、高齢者の方々を励まして、この暑い夏を元気に乗り切っていただこうというねらいです。

